

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二二
毎週一回発行

GIGAスクール構想 急な前倒し タブレットより少人数学級を

豊田市議会6月定例会が19日に閉会しました。最終日に、日本共産党の根本みはる市議がおこなった議案に対する討論の一部を紹介しま

す。令和2年度豊田市一般会計補正予算については、①新型コロナウイルス感染症防止の影響から必要な「介護事業所・医療従事者への支援」、「生活困窮者への支援」などが盛り込まれる一方、廃業・倒産が心配される中、収入減となった場合の中小企業者等支援補助金では、対象の範囲もさらに拡充し、1回限りでなく、支援の継続・増額が必要です。



②GIGAスクール構想推進事業費について、タブレット1人1台で約4万台の購入費、校内LAN整備費とあわせた総額40億7千万余の事業です。

今、真に求められるのは、長期の休校で孤独を強いられた子どもたちの気持ちを汲み取り、寄り添って声をかけ、心身のケアをおこなっていくことです。

日本教育学会も10万人の教員の増員を提唱しており、豊田市では、小学4年生から6年生は少人数学級ではなく、1クラス40人規模の教室で新型コロナ対策も困難な状況の中、一層、教員の増員と少人数学級の拡大が求められています。

博物館の新築計画は 見直し・工事延期を

新型コロナウイルス感染症の影響から、市民生活と営業を守るための新規事業が急がれていますが、

コロナの影響で今後の地域経済の見通しが不透明なこの時点で、国の補助金を含め総額88億円もかける、博物館新築事業は、計画の見直し・工事着工の延期とすべきです。

市営住宅は建て替えて 22戸も減るのは問題

市営松平志賀住宅は、老朽化により、岩倉住宅と統合し、建て替えが行われます。

建て替え後の戸数は50戸です。建替え前より22戸も減ることが答弁からわかりました。市営住宅への入居を希望されても入居希望がかなわず、高齢者世帯で待機になってしまいう実態があります。市営住宅の戸数は、減らすのではなく、入居希望から考えて増やすべきです。

併せて、樹木住宅に続いて建設・管理をPPP方式に委ねていくものです。

国土交通省が「PPP/PFIの推進」を「民間投資やビジネス機会の拡大」に位置付けていることから、PPP方式は、公共事業で民間事業者が、いかに利益を上げるかが大きな目的であることは明らかです。



3日
行動

アベ政治許さない！スタンディング

7月3日(金)

時間：午後1:00~1:30

場所：市駅西デッキ上

主催 豊田革新懇
安倍9条改憲NO！豊田市民アクション

「豊田市平和を願う戦争展」 中止のお知らせ

3か月の自宅待機という経験の無い状況の中、皆さんの健康はいかがでしょう。残念ではありますが、7月5日の映画「ひろしま」の上映も中止となりました。8月1、2日予定していました戦争展の中止は極めて残念ですが、市民の安全が一番大事ですので、苦渋の選択ですが、今年の開催は中止とさせていただきます。皆様には多大なご支援をお寄せいただき、32回の展示会を続けてきましたが、状況を考えると無理はできません。来年は、今年の思いも含めて頑張っていきたいと考えています。よろしくお願い致します。

なお、「あいち平和のための戦争展」(8月13日~16日)は、市民ギャラリー矢田(ナゴヤドーム隣)にて開催されます。豊田から出展を予定しています。

豊田市平和を願う戦争展実行委員会

松原勝巳 篠田木末 柏木義孝

コロナ危機 乗り越え 新しい日本を

コロナ危機のもとで、人々の政治への関心が高まり、国民の声が政治を動かす状況が生まれる中で、日本共産党への注目と期待が高まっています。日本共産党とはどんな政党なのか、コロナ問題でどん

命と暮らしを守るため献身する党

#困ったときは 相談しよう

「#困ったときは共産党に相談しよう」。こんなハッシュタグ（#）付きのツイート（短文投稿）がインターネットで広がっています。そこには、日本共産党に相談して助けられ、党への見方が変わったという人たちの体験談が次々。

「コロナの給付金に関して詳しい内容が載ったチラシには区議の携帯番号まで載っていた。他の政党でこんなこと

な役割を果たしているのか、紹介します。日本共産党中央委員会発行の、しんぶん赤旗2020年夏号外より引用。（4回連載の1回目）

しているの見たことない」「安倍内閣に怒りや不満を持つようになって、初めて国会中継を見た時驚いた。共産党が一番国民に寄り添ってるともな事を言っていたのだ」と。

「国民の苦難あるところこの党あり」…これこそ、日本共産党の立党の精神です。

日本共産党は、コロナ危機に苦しむ国民の切実な声を踏まえ、「自粛と一体に補償を」

「検査体制強化と医療現場への支援を」と、感染爆発と医療崩壊を止める緊急提案を政府に提起し国会で論戦。「自粛と一体に補償を」の提起は、国民の圧倒的な世論を背景に、野党の一致した要求となり、全国知事会も政府に求めることになりました。この間、一律10万円支給が実現したのをはじめ、医療・検査体制の拡充、家賃支援、雇用調整助成金の上限額引き上げなど、緊急提案で求めた一連の拡充策が、その後2020年度補正予算などで次々実現しました。

緊急事態宣言は解除されましたが、収束したわけではありません。そのなか、日本共産党は「感染流行の『第2波』」に備え、医療と検査体制を抜本的に強化するとともに、「新しい自粛要請と一体の補償」を求めています。

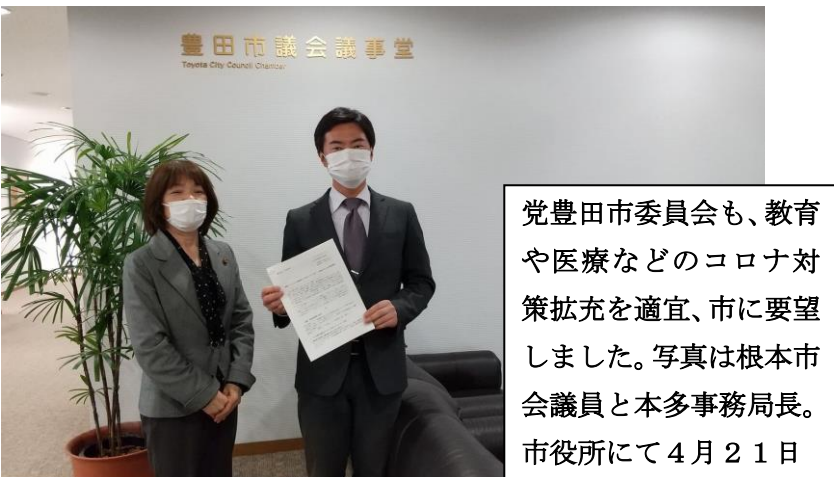
日本共産党は、草の根の力で苦難を解決する政党です。全国の約2700人の地方議員、全国にある地区委員会、地域や職場で日夜活動する党支部・党員が正確な情報を知らせ、困りごとに親身になって相談にのり、ともに解決に向かって努力しています。

国民の苦難あるところ

「国民の苦難あるところこの党あり」。1922年の党創立以来的の立党の精神は、国民の命と暮らしが脅かされる震災・災害現場で発揮されてきました。

1933年3月の昭和三陸大津波後、「赤旗（せつき）」15日付で「東北北海道罹災（りさい）民救援闘争をおこせ！」とよびかけました。当時から今に続く被災者に寄り

添う立党の精神です。2011年3月11日。未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生直後から、日本共産党は救援活動を開始。三陸地方の党組織は、被災直後から救援活動を始め、党災害・救援対策センターを立ち上げるなど、各地で救援活動に献身しました。毎年のように相次ぐ豪雨災害でも各地で党地方議員を先頭に救援に奔走。被災者の要望を、住宅再建支援や農業被害対策などに全力をあげています。



党豊田市委員会も、教育や医療などのコロナ対策拡充を適宜、市に要望しました。写真は根本市議会議員と本多事務局長。市役所にて4月21日

**コロナ対応の相談も
三密を避けてお聴きます**

◆第2土曜日午前10時～。7月は11日（土）
◆法律相談は弁護士、生活相談は市議会議員が相談にのります。
（生活相談は随時）
◆要予約。お申し込みは党市議会議員か日本共産党西三地区委員会まで
Tel.0564-23-2785

**無料 法律・生活相談
おこなっています**

本多のぶひろ 党市委員会事務局長
根本みはる 豊田市議会議員